

第 4 期かながわ水源環境保全・再生実行 5 か年計画案について

1 計画案策定の経緯

令和 2 年 6 月に水源環境保全・再生かながわ県民会議から『次期（第 4 期）「かながわ水源環境保全・再生実行 5 か年計画」に関する意見書』が県へ提出され、同年 12 月に骨子案について県民意見募集や市町村への意見照会等を行い、令和 3 年 3 月から素案について県民意見募集を行うとともに、同年 4 月から自治基本条例に基づく市町村協議を行った。このたび、県民意見募集等の結果を踏まえ、計画案として取りまとめた。

2 素案に対する県民意見募集等の結果

(1) 県民意見募集

ア 募集期間 令和 3 年 3 月 26 日～ 4 月 25 日

イ 意見募集の周知

- ・ 記者発表
- ・ 県の窓口における配架
県政情報センター、各地域県政情報コーナー、水源環境保全課等
- ・ 県のホームページによる情報提供

ウ 実施結果

- ・ 寄せられた意見の件数 18 件
- ・ 意見の内訳

内 容	件 数
(ア) 特別対策事業の内容修正・追加・削除について	16 件
(イ) 記載内容の見直しについて	1 件
(ウ) 制度設計、交付金要綱等について	0 件
(エ) その他	1 件
合 計	18 件

- ・ 意見の反映状況

内 容	件 数
(ア) 計画案に反映した意見	10 件
(イ) 意見の趣旨が既に素案に反映している意見	2 件
(ウ) 今後の参考とする意見	3 件
(エ) 計画案に反映できない意見	3 件
(オ) その他	0 件
合 計	18 件

(2) 自治基本条例に基づく市町村との協議

市町村に関わる県の政策のうち、特に重要な政策について、県の政策決定のプロセスに市町村の意見を反映させるために実施した。

ア 文書協議期間

令和3年4月9日～4月28日

イ 県の見解の通知

令和3年5月18日

ウ 協議終了の通知

令和3年6月1日

エ 実施結果

- ・ 寄せられた意見の件数 8件
- ・ 意見の内訳

内 容	件 数
(ア) 特別対策事業の内容修正・追加・削除について	4件
(イ) 記載内容の見直しについて	0件
(ウ) 制度設計、交付金要綱等について	0件
(エ) その他	4件
合 計	8件

- ・ 意見の反映状況

内 容	件 数
(ア) 計画案に反映した意見	0件
(イ) 意見の趣旨が既に素案に反映している意見	1件
(ウ) 今後の参考とする意見	6件
(エ) 計画案に反映できない意見	1件
(オ) その他	0件
合 計	8件

(3) 寄せられた主な意見の反映状況

ア 計画案に反映した意見

- ・ 「新規事業：シカ捕獲実施者への奨励金交付」について、市町村にどのような基準で奨励金を交付するのかを県民にもわかるように具体的に記載してほしい。曖昧なままでは、農地で有害駆除されたシカなどにも奨励金が支払われることにならないかと危惧する。
- ・ 「今後予想される自然災害を踏まえ、林地保全対策を強化する必要がある」のくだりは、「今後」のことなので「踏まえ」はなじまないのではないのか。「見据え」等に言い換えるなど検討いただきたい。

イ 意見の趣旨が既に素案に反映している意見

- ・ 自然災害は水源の森林エリア・地域水源エリアの区別なく県下全域の森林で起こりうる課題でもあるため、地域水源エリアにおいても、土壌保全対策を積極的に推し進めるような仕組みを盛り込むことを検討されたい。

ウ 今後の参考とする意見

- ・ 例えば今問題になっているマイクロプラスチックについて、最新の知見を反映して水源の水質への影響や、発生源対策を行うため、必要な研究を行うなど、継続事業のみにとらわれず新たな視点からも計画作成を検討すべきである。
- ・ 本当に県民の意見を聞く気があるなら、県庁広報Twitter等を活用するなどして、意見を募集していることをもっと広く伝えるべきだったのではないか。意見募集していたことを、ほとんどの県民が知らないのでは。そもそも水源税を県民が払っていることも、ほとんどの県民は知らないのではないかと思う。
- ・ 計画目的である良質な水の安定的確保のため、施策大綱期間終了後においても引き続き財源措置を図っていただくよう要望する。

エ 計画案に反映できない意見

- ・ 森林資源の利用とは結局林業ではないのか。それなら一般会計で行うべきである。林業と公益的機能のための森林づくりをしっかりと区別してほしい。

3 計画案の概要

(1) 新規必要額

第4期実行計画の事業費は、5年間で318億9,900万円、単年度平均で63億7,900万円、うち新規必要額（水源環境保全税を活用し、充実・強化して取り組む特別対策の事業費）として、5年間で219億5,300万円、単年度平均で43億9,000万円を見込む。

(2) 素案からの主な変更箇所

ア 「9. 相模川水系上流域対策の推進」について、山梨県との共同事業として実施する第4期実行計画5年間の森林整備の目標面積と事業費を記載した。

イ 「第3期計画までの事業執行見込み」に令和2年度実績と令和3年度計画を追加した。

ウ 「5年間に取り組む事業の全体像」や「第4期計画（案）のとりまとめ経過」等を追加した。

エ 県議会での議論や県民意見等を踏まえ、記載内容の見直しを行った。

4 今後のスケジュール（予定）

令和3年9月	県税条例改正案を提出
11月	計画策定、県民への周知等
令和4年4月	第4期実行計画実施

参考

第4期実行計画案の事業費

単位：百万円（5年間計）

事業名	第3期計画		第4期計画	
	事業費	うち新規 必要額	事業費	うち新規 必要額
1 水源の森林づくり事業の推進	12,875 (2,575)	6,244 (1,249)	12,731 (2,547)	6,231 (1,247)
2 丹沢大山の保全・再生対策	1,252 (250)	1,252 (250)	1,546 (309)	1,546 (309)
3 土壌保全対策の推進	1,310 (262)	1,310 (262)	1,826 (365)	1,826 (365)
4 間伐材の搬出促進	1,550 (310)	1,550 (310)	1,411 (282)	1,411 (282)
5 地域水源林整備の支援	2,865 (573)	2,865 (573)	3,333 (667)	3,333 (667)
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	1,490 (298)	1,490 (298)	947 (189)	947 (189)
7 地下水保全対策の推進	396 (79)	396 (79)	577 (115)	577 (115)
8 生活排水処理施設の整備促進	6,169 (1,234)	3,483 (697)	8,008 (1,601)	4,562 (912)
9 相模川水系上流域対策の推進	190 (38)	190 (38)	217 (43)	217 (43)
10 水環境モニタリングの実施	1,040 (208)	1,040 (208)	1,095 (219)	1,095 (219)
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	230 (46)	230 (46)	208 (42)	208 (42)
合計	29,367 (5,873)	20,050 (4,010)	31,899 (6,379)	21,953 (4,390)

() 内は単年度平均